

17年ぶりの大修理

きて・みて・ふれて

重要有形民俗文化財 白山麓西谷の民家 中村家

# 古民家で学ぼう生きる知恵



本物の屋根で  
茅葺き体験!

参加無料  
申込不要

平成30年 9月8日 田・9日 日

10時～16時

憩いの森古民家（小松市吉竹町）

※10名以上のグループは要事前申込

ほかにもいっぱい体験できる!

むずかしいけど  
たのしい!



おがをひいて



茅を葺いて



かんなどで削って

※写真は、国重要文化財 旧木下家住宅（福井県勝山市）、国重要文化財 旧橋本家住宅（福井県大野市）の現場見学会の様子

主催 小松市観光文化課・小松市教育委員会青少年育成課

協力 小松市社会教育委員・小松市農林水産課



白山麓西谷の民家 中村家



茅葺の材料

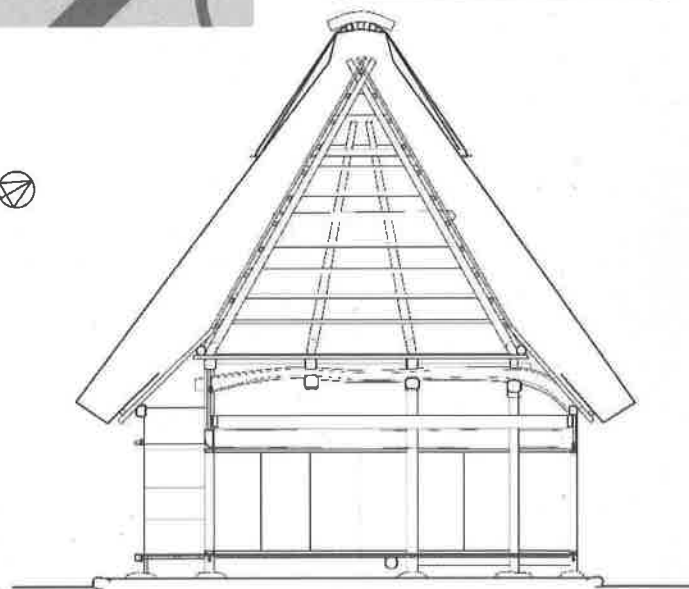
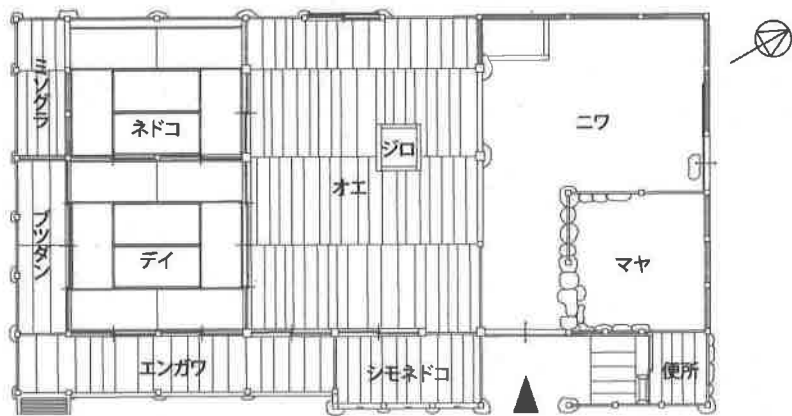
工事の様子(2018年5月)



茅葺き屋根とは、わら・ススキ・ヨシアサガラなど草で葺いた屋根全てを言います。昔は、どこの村にも茅場があり、村人総出で秋に刈り、1年間寝かせた材料で葺き上げました。葺くのも茅葺職人の他、村人が総出で手伝ったものです。

茅の葺き方は、束にほどき敷き並べ、押鉾を前後2段で押えていくのが普通です。材料は、里では竹、山間部では木の枝を 사용합니다。地域によって様々な違いが見られます。

## 重要有形民俗文化財 白山麓西谷の民家 中村家



鳥越村相滝にあった森家住宅を、明治初期に鳥越村渡津に移築し中村家住宅として使用されていたものです。昭和58年(1983)10月に、現在地へ移築復元しました。規模は桁行14.3m、梁間7.7mで、江戸時代末期の建造と推定されます。屋根は寄棟造りの茅葺で、積雪に対処するため急勾配になっています。両妻には庇屋根を付けたヒダチ(明り窓)があり、積雪の多い冬季は出入口や薪の取り入れ口などに使われました。

この民家の特徴は、雪深い白山麓西谷の社会生活や、人生の折々に行われた儀礼の一面をうかがわせる性格を有することであり、残り少ない貴重な民家といえます。昭和59年に国の重要文化財に指定されました。

お申込み・お問合せ

小松市観光文化課 TEL:0761-24-8130

小松市教育委員会青少年育成課 TEL:0761-24-8128

※10名以上のグループで参加される場合は事前申込みが必要です。9月7日(金)までに上記までお申込みください。